AutoCAD 2022 対応

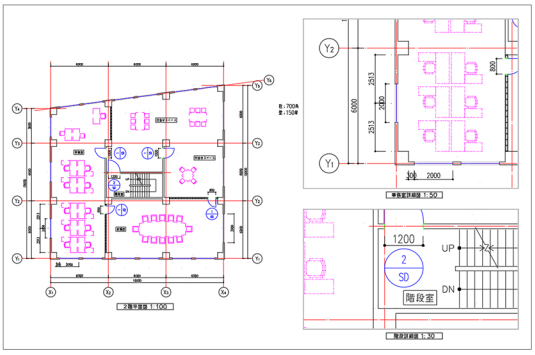
構造図版 adpack-NEO Ver.12.0

概 要

本システムは、意匠図面作成機能に特化した2次元建築CADです。発売十余年に亘るadpack-PROシリーズの経験を生かしてフルモデル・チェンジしました。立ち上げスピードが速く、AutoCAD単体を立ち上げるのとほとんど変わらない速さを実感できるので、AutoCAD上のユーティリティー・常駐ソフトとしての利用をお奨めします。
また、意匠図面作成に必要なコマンド数を最小限に絞っている為にコマンド操作の習得が早く、ダイアログボックスによるパラメータ入力を多用したことにより、分かり易く快適な操作性となっております。

1. 基本機能の強化

図面を効率よく作図・編集するために、使い勝手の良い便利なコマンドを用意しています。例えば、用紙設定コマンドで用紙サイズや縮尺、レイヤー、用紙枠、寸法スタイルの設定が行えるので、あとは縮尺や設定を気にせずに図面の作成に専念できます。他のアプリケーションで作成された図面でも、文字や寸法・レイヤー等の細かな設定は必要ありません。あらかじめ用意されている設定に加えて、足りないものはadpack-NEO 側で自動的に設定します。
個々のコマンドでは、線分を個別の距離指定で複数本一度に平行複写する機能や、図形間を等分割して同一図形をコピーする機能等もあります。さらに、寸法線を簡単に作図して後から寸法補助線の長さを揃える機能や、引出線コマンドの機能の充実も図りました。また、異縮尺編集機能では、異なる縮尺のビューを同一レイアウトに配置し、縮尺を意識せずに異縮尺図面を作図することが可能です。



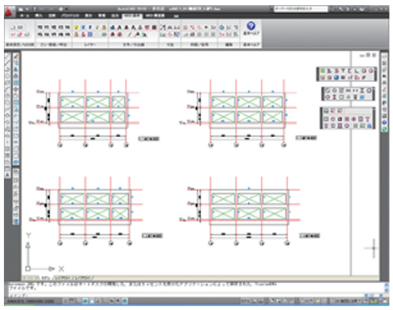
［異縮尺図面］

［リボンメニュー　基本］

［リボンメニュー　構造図］

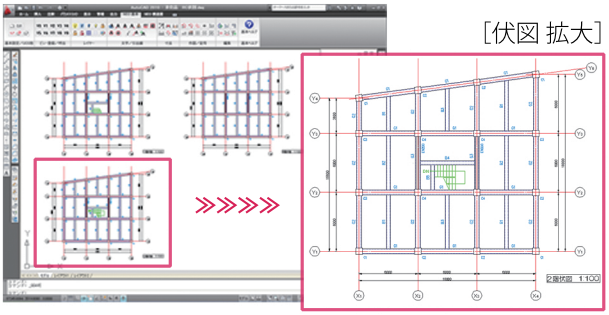
2. 伏図・軸組図作成機能

伏図・軸組図を効率よく作成する為に、柱、梁、壁、開口等の作図コマンドを装備しています。これらのコマンドを実行するとダイアログボックスが表示するので、その中のボタン選択により、伏図・軸組図どちらの表現でも作図することが可能です。Ｓ造では、入力の手間を省く為に、多用される鉄骨部材はダイアログボックス内のプルダウンリストから選択できるようになっています。
さらに、柱・梁等は「部材オブジェクト」で作図されるので、データ参照や情報変更による図形の自動更新作図機能があり、設計変更に伴う煩雑な編集作業がスムーズに行えます。
また、基準線の作図では、伏図用の一括作図だけではなく、軸組図用の基準線一括作図も行えます。



［軸組図］

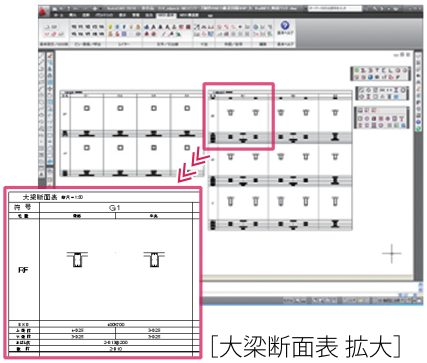
［リボンメニュー　構造図］



［伏図 拡大］

3. 断面リスト作成機能

各断面リストは、ダイアログボックスで各部材の情報を入力することで自動生成されます。
また、adpack-NEOには断面リスト一括作図の機能があるので、EXCEL上で決められたフォーマットに従って各部材の情報を入力してCSVファイルを作成すれば、そのデータを読み込み、断面リストを一括で自動生成できます。
リストの修正を行う場合は、修正したい断面をクリックして、ダイアログボックス内に表示されたパラメータを編集することによって、すばやく変更することができます。



［大梁断面表 拡大］

4. 鉄骨作図機能

鉄骨は、Ｈ型鋼等のロール材、ＢＨ材、ボックス材等の断面・幅側面・成側面の作図が可能です。
また、ＳＲＣ断面のＴ形および十字形の作図が可能です。

動作環境

AutoCAD 2022 又は AutoCAD Architecture 2022 必須
OS：Windows 10（64ビット版）
CPU・メモリー：各AutoCAD 2022シリーズの動作環境
ハードディスク空き容量：50MB以上
ポインティング デバイス：Windows に対応したマウス
その他：CD-ROMドライブ必須（インストールに使用）

有償サポート

adpack-NEOを、より有効にご活用いただくために有償サポートを行っております。
有償サポートの内容および申込方法については https://www.archdata.co.jp をご参照下さい。

価格

￥95,000 -（税込￥104,500-）スタンドアロン版

ARCHDATA
株式会社アークデータ研究所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-37-14
TEL. 03-5901-9452　FAX. 03-5901-9451
mail：adpack@archdata.co.jp
https://www.archdata.co.jp